

CCD 単結晶自動 X 線構造解析装置

【メーカー】:Rigaku

【型式】:Varimax/Saturn724+

【設置場所】:理工学部 9 号館 1 階 107 号室

【仕様】

- ・X 線発生装置: MicroMax007HF
- ・検出器: CCD (Saturn 724; Area : 72 x 72 mm)
- ・実効焦点サイズ: $\phi 0.07$ mm、最大負荷: 1.2 kW



【機器説明】

Cu 回転対陰極を使用し、X 線源の超高輝度化を実現。低温吹付装置(液体窒素)により、不安定な試料を低温に保持。低分子金属錯体単結晶の結晶構造解析及びタンパク質結晶の良否判定(スクリーニング)が可能。